

JF共済 平成25年度「事業概要」のご報告

JF共済平成25年度の事業概要をご報告いたします。

これからも、JF共済は相互扶助の理念にもとづき、組合員、ご契約者のみなさまの暮らしの安心としあわせづくりを追求してまいります。



JF共済(JF共水連)の健全性・安定性は…

支払余力(ソルベンシー・マージン)比率は、 経営の健全な水準を大きく超えています

東日本大震災による多額の共済金の支払いにより、支払余力(ソルベンシー・マージン)比率が減少しましたが、現在は順調に回復しており、平成25年度末は705.0%となっています。

これは経営の健全な水準とされる200%を大きく超えており、十分な支払余力を確保しています。

*支払余力(ソルベンシー・マージン)比率とは、通常の予測を超えて発生する諸リスクに備えて、どのくらいの支払余力(ソルベンシー・マージン)があるかを判断するための行政監督上の指標の一つです。
なお、この比率は、JF共水連が生命共済と損害共済を兼営していることから、民間の生命保険会社、損害保険会社のソルベンシー・マージン比率と単純に比較することはできません。

支払余力(ソルベンシー・マージン)比率

705.0%

●支払余力(ソルベンシー・マージン)比率(%)

$$= \frac{\text{支払余力(ソルベンシー・マージン)総額}}{\text{リスクの合計額} \times \frac{1}{2}} \times 100$$

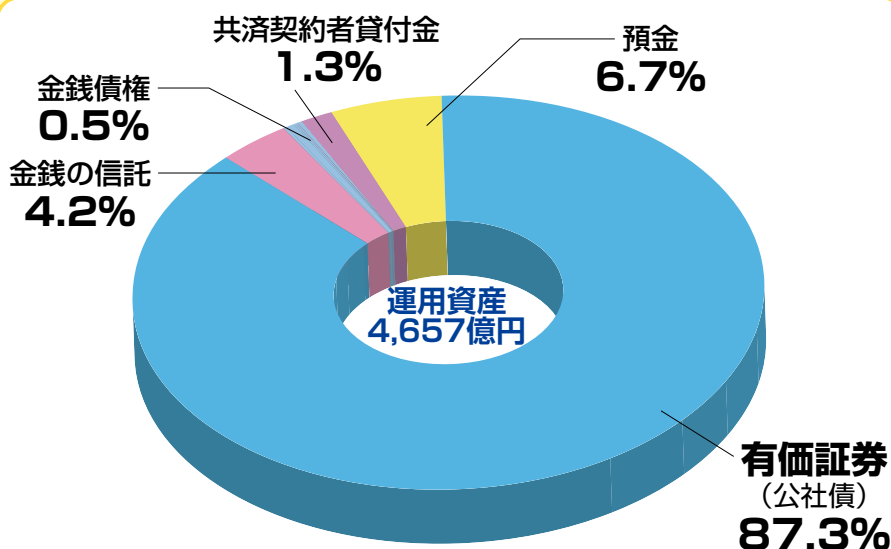
参考：平成24年度末 625.4%

長期安定的な資産運用につとめています

総資産

4,896 億円

JF共水連は、総資産のうち4,657億円の運用資産について、公社債や系統預金を中心に長期安定的な運用を行っています。



平成25年度 実績概要のご報告

多くの方を守る保障

長期共済の新契約高(保障金額)
2,553億円

長期共済の保有契約件数
33万件

長期共済の保有契約高(保障金額)
2兆5,647億円

長期共済の受入共済掛金
533億円

短期共済の保有契約高(保障金額)
2兆5,347億円

短期共済の受入共済掛金
40億円

○「長期共済」とはチョコーとくらしの合計を示し、「短期共済」とはノリコーとカサイの合計を示します。

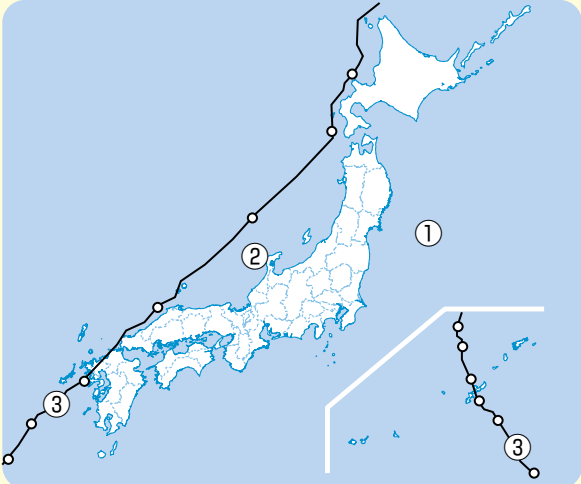
この1年間でお役に立った共済金

事故・満期 合計で **477億円**

普通厚生共済 (チョコー)	生活総合共済 (くらし)	乗組員厚生共済 (ノリコー)	その他共済計 (カサイ他)
事故時のお支払い 114億円	事故時のお支払い 11億円	お支払い 14億円	お支払い 56億円
満期時のお支払い 229億円	満期時のお支払い 50億円		

(平成25年度末)

過去の災害等でお支払いした共済金



JF共済は、以下のような巨大災害に対し、確実な共済金のお支払いを行ってまいりました。

- ①平成23年 東日本大震災 240億円
- ②平成19年 能登半島地震 4.9億円
- ③平成16年 台風18号等 48億円